

絆・感動発進委員会

委員長 桐田 玄洋

【事業報告】

本年度、絆・感動発進委員会では、「地域を感動させる為には？」をテーマに活動してまいりました。地域の多くの方と登山した、8月富士山例会を軸に年4回の例会を担当しました。

5月第1例会では、講師に米山千晴氏をお招きし、7月例会・8月例会を成功させる為の代一步として、富士山登山の魅力、危険性、そして心構え等を講演していただき、学び取らせて頂きました。特に富士山登山の魅力とは反対の危険性についての講演を聴き、委員会メンバー初め LOM メンバーはもう一度、緒を締めなおし危険対策等、下準備を整え万全の体制で8月例会に挑まなければならないと気付きを得ました。

この講師例会をした事によって、委員会メンバーは、今まで曖昧だった7月例会・8月例会に何をするか、何をしなければいけないかと言った具体的な流れが見えてきたと共に、LOM メンバー一人一人に8月例会『富士山登山』への心構えが出来たものと確信しました。

7月第1例会では、5月例会で得た知識を活用し一般参加者の皆様をお招きし委員会メンバーを中心に、一般の方々に説明会を行いました。最初に富士山の魅力を知って頂くために富士山の映像を流しその後、持ち物・注意事項・当日の流れについて説明しました。その後、事前にチーム分けしておいたチーム毎に分かれまず副リーダーを2名決めました、そしてチーム旗に個々の目標を書き込みました、チーム名を決める際には皆で意見を出し合い決め決定しました。

この一般参加者説明会例会をした事によって、委員会メンバーは、更に8月例会に何をするか、何をしなければいけないかと言った具体的な流れが見えてきたと共に、LOM メンバー一人一人に8月例会『富士山登山』への心構えが出来たものと確信しました。LOM メンバーが全員で力を合わせ8月例会『富士山登山』に向け一人の脱落者を出す事無く、参加者全員の登頂を成功させ、感動を得るとともに、またメンバー同士、ひいては地域との絆が深まるものと確信いたしました。

8月第1例会では、8月17～18日2日間に渡り、富士山山頂を目指し91名で逗子亀ヶ岡神社から出発しました。現地に到着し持参した昼食を東富士山荘ですませ山頂めざしガイドを合わせ94名で登山を開始しました。登山開始は雨具着用でしたが、すぐに晴天となり登山日和の中、メンバーはもちろん、家族間、参加者の間で励ましあい山頂を目指

しました。途中、幾つもの困難もあり数名の脱落者も出てしまいましたが、1日目のゴール御来光館に到着し子供からの順で食事をすませ就寝しました。

2日目の朝4時に起床し、素晴らしい雲海の中から出てくる御来光を拝みその後、山頂めざし登山開始しました、メンバー・参加者共に疲労・高山病などになっている人もいる中、皆で声を掛け合い励まし合いながら山頂をめざしました。山頂には困難な道を登りきり理事長お出迎えの中76名が登頂する事が出来ました。山頂では少ない休憩時間の中、神社へ参拝する方や、軽食を取る方、記念撮影をする方など、各々素晴らしい時間を過ごしました。また山頂では火口見学をし記念撮影の後、東富士山荘めざし下山を開始しました。下山は、二日間の疲労がピークに達している中、登る倍以上のスピードで下って行きました。途中、山頂まで行くことが出来なかった参加者を各山小屋にて合流しメンバー・参加者全員で東富士山荘に下山到着しました。山荘到着時には感動し涙する参加者もいました。また、山荘では昼食に準備しておいて頂いていたキノコそばとアイスクリームを食べました。やり遂げた後の食事はさぞおいしかった事と思います。その後帰路につき、無事ケガ人も出る事なく91名全員で逗子亀ヶ岡神社に到着し解散式を行い解散する事が出来ました。この2日間を通しての富士山登山を通じメンバーは、地域の人々と共に険しい道のりを乗り切り、一緒に自然と触れ合うことにより地域住民の方々と絆が深まったものと確信しています。またメンバーの結束力・絆そして魅力ある人間に成長したと同時にLOMが活性化していく起爆剤となったと感じています。

富士登山という困難な事業ではありましたが、我々はメンバー・地域の方々と共に感動を分かち合った事により逗子葉山という『まち』を地域の方と共に素晴らしい『まち』にしていく事が出来ると確信いたしました。

10月第1例会では、年間事業の着地点、地域への発進の場と位置づけ、2部構成の例会を開催いたしました。まず、第1部では7月の説明会・8月の富士山登山の映像を一般参加者（今回の年間事業に参加していない方）の方々にも見て頂く事により、地域への発進をしました。その後、講師に五十嵐和哉氏をお招きし講演を頂きました。講演では、五十嵐氏のエベレスト登頂への準備から登頂の道のり、また 何事にも挑戦する事の素晴らしさなどの講演を頂きました。質疑応答では、一般参加者の方々も率先して手を挙げて頂く事が出来ました。第2部では、発表会・表彰式を行いました、まず以前に分けたチーム毎に分かれディスカッションを開き登山をきっかけに何か自分の中で変わった事、また成長した事などをチーム毎にまとめて頂きました、発表の時にはチームから代表者を出し発表して頂きました。発表の中には、富士登山を終えて自分が強くなった・これからも何かに挑戦（チャレンジ）して行きたいなどの言葉を頂き今回の事業の成功を確信しました。表彰式では、委員会手作りの表彰状を理事長からチームの代表者に手渡して頂きました。また記念品として、説明会から富士登山、解散式までの沢山の写真が詰まったCDをお持ち帰って頂きました。中には1部で流した映像も頂きたいなどの声もありました。この例会を

通して、逗子葉山青年会議所の事業を地域の方々に発信することが出来ました。また、メンバーは、地域の人々と共に時間を共有する事により地域住民の方々と絆が深まった者と確信しています。

今年度の事業を通じ、感動とは何か？人に感動してもらうにはまず、自分が感動しなくては、人には感動してもらえないそのためには何事にも挑戦して行かなくてはと感じました。またメンバーの結束力・絆そして魅力ある人間に成長したと同時にLOMが活性化していく起爆剤となったと感じています。

年間を通して、我々の講習、参加者への講義、富士山登山本番、報告会という流れでやってきたのですが、回を増す毎に我々委員会メンバーはもとより、LOMメンバーも心一つになり、いい事業が出来たと思います。また、常任、理事会の場での意見を委員会がなかなか反映出来なかったのも事実です。

が、少ない人数、委員長経験も初めてながら、多くの委員会を開き、多く話し合い無事に一年間を終了した事は、委員会メンバーの自信につながりました。

この経験を元に来年、再来年とLOMを盛り上げていけたらと思います。

【例会報告】

5月第1例会

テーマ みんなで富士山に登ろう！日本一の頂へ ～感動とともに～
講師 富士山須走口登山ガイド やまぼうし
代表取締役 米山 千晴 氏
日時 5月21日（水） 18：00～22：00
場所 逗子市商工会館 301～303号室
出席者数 メンバー 12名
オブザーバー4名
出席率 85.71%

7月第1例会

テーマ みんなで富士山に登ろう！日本一の頂へ ～感動とともに～
(一般参加者説明会)
日時 7月27日（日） 13：00～16：00
場所 逗子市商工会館 301～302号室
出席者数 メンバー 13名
一般参加者 76名

出席率 92.85%

8月第1例会

テーマ みんなで富士山に登ろう！日本一の頂へ ～感動とともに～
(富士山登山)

日時 8月17～18日(日・月) 2日間

場所 富士山

出席者数 メンバー 14名

一般参加者 91名

ガイド 3名

出席率 100%

10月第1例会

テーマ みんなで富士山に登ろう！日本一の頂へ ～感動とともに～
(講演・表彰式)

講師 株式会社 ミウラ・ドルフィンズ
五十嵐 和哉

日時 10月25日(土) 13:00～16:00

場所 逗子市商工会館 301～303号室

出席者数 メンバー 13名

一般参加者 30名

OB 1名

出席率 92.85%

【事業反省】

1. 年間を通しとても良い事業が出来た。
2. 一般参加者の点呼確認を更に徹底するべきであった。
3. 富士山での連絡体制を携帯電話に頼るべきではなかった。
4. けが人が出る事無く富士山登山を終えたのは非常によかった。
5. 拡大活動が疎かになってしまった。
6. もっと地域の方々に発信できたと思う。

【申し送り事項】

1. 拡大は全メンバーの持続事業なので情報交換を頻繁に行うべきである。

2. 一般参加者を呼び事業を行う時には、人数をメンバー全員が把握し点呼確認を確実、正確に行う。
3. 年間を通して1つの事業を行う場合、委員会メンバーを中心に LOM が一丸となる必要がある。
4. 委員会の意見だけでなく LOM メンバー全員の意見も反映させる。
5. 地域の方々を巻き込む事業は、青年会議所活動の発信に大きくつながるので今後もその様な事業を行うべきだ。

【委員会開催日】

2007年 11月16日、28日
12月6日、
2008年 1月21日
2月11日
3月3日、10日、30日
4月17日、21日、30日
5月8日、19日、28日
6月9日、23日
7月7日、8日、14日、22日、24日、25日、26日
8月1日、4日、6日、8日、11日、14日、15日、27日
9月9日、12日、17日、25日
10月3日、7日、15日、16日、23日、24日

合計41回